

[00:00:00.210] - Noriko

[00:00:00.840] - Noriko

みなさん、こんにちは。日本語の先生のりこです。今日の特別ゲストは3回目になります。ほぼレギュラーゲストと言ってもいいかな。カナダのバンクーバー在住のちかこさんです。シーズン1の266、そしてシーズン2の47のエピソードにも出ていただきました。今回も約1年ぶりということで、ちかこさんに最近の近況を聞いていきたいと思っています。ちかこさん、久しぶりです。

[00:00:27.990] - Chikako

はい、お久しぶりです。のりこさん。

[00:00:30.840] - Noriko

明けましておめでとう、ですよ。

[00:00:32.790] - Chikako

リスナーの皆さま、

[00:00:33.630] - Noriko

うん

[00:00:34.620] - Chikako

明けましておめでとうございます。2023年になりましたね。

[00:00:39.330] - Chikako

何か・・・

[00:00:39.840] - Noriko

ね、早い、一年早かった。

[00:00:41.400] - Chikako

早かった。

[00:00:45.460] - Chikako

結構一緒にゆっくり2022年はゆっくり仕事をしながら自分のこと、楽しみましょうねと、話したんですよ。

[00:00:58.120] - Noriko

そう、私さ、

[00:00:59.290] - Noriko

あの時に、その前回ね、約1年前、1年ちょっと前に録音した時に、そういう話をしたじゃないですか。私、今メモがあって、ここに、ちかこさんに言われたことをこれ書いて、ずっと1年貼ってたんですよ。

[00:01:14.280] - Chikako

素晴らしい！

[00:01:16.890] - Noriko

そう、Non productive life まあ、それは・・・

[00:01:21.430] - Noriko

結局はね、結構仕事しちゃったと思うんだけど、お互いに。でも、何か時にはちょっとストップしてね。自分のことも見つめ直さなきゃいけないよという意味で、何かずっとこれをつけてました。うん。

[00:01:35.410] - Chikako

ああ、うれしい。

[00:01:37.750] - Noriko

でも忙しいんでしょう？

[00:01:39.130] - Chikako

私、約束、破っちゃった。私のnon productive life、ちょっと約束破っちゃいました。

[00:01:46.630] - Noriko

いや、そんな気がしてた。やり取りしてた時に。でも順調ってことですよ。絵を描くお仕事の方が。

[00:01:55.180] - Chikako

絵を描く仕事はそうですね。今、4冊目の子どもの本をしてるのかな。

[00:02:01.390] - Noriko

すごい！

[00:02:01.870] - Chikako

今回、結構大きくて、結構大きくて、32(?) ページの絵本の締め切りが来月なんですよ。

[00:02:09.400] - Noriko

うわ、え、もう4冊目ということは何かシリーズになってるってことですか。

[00:02:14.470] - Chikako

いや、えーと、シリーズじゃなくて、エージェントさんが日本にいますけど、エージェントさんからこの絵本、描いてください、お願いしますっていうのが4回目ですね。

[00:02:26.830] - Noriko

すごい、本当にうまくいっているってことですよ。

[00:02:30.670] - Chikako

ありがたいですよ。

[00:02:31.960] - Noriko

いやいやでもやっぱり才能があるし、その才能がつけられたというか、ね。目に留まったってことですよ。エージェントの方に。

[00:02:42.160] - Chikako

のりこさん、うれしい。うれしい。

[00:02:44.620] - Noriko

いや、でもすごい。じゃあ本当に働きすぎちゃったってこと、去年、結局？

[00:02:48.700] - Chikako

実は、日本語の教師を一度辞めて、それでイラストにシフトしようとしたんですけど、イラストの仕事って結構自分の世界に入って黙々と黙々としゃべらずに仕事をするっていう感じで、なんかしゃべるのが本当にないんですよ。それで、ちょっとさみしくなっちゃって。あ、日本語の先生もやろうって思って、そうそう。なんかいい感じに外にエネルギーを発散する仕事と、あと、家にこもる仕事を両立させようかなって思って両方を始めたんですよ。

[00:03:32.260] - Noriko

それは去年の話ですね。まだ？

[00:03:35.620] - Chikako

の話です。そうそうそう。それで、まあ、仕事を2つ両立させながら去年やってたんですけど。

[00:03:43.030] - Noriko

でもどうでした。そのバランスはよかった？

[00:03:46.630] - Chikako

よかった、よかったです。それで、もうちょっとこの後、日本の話に入ると思うんですけど、一度、なんだろう。海外で日本語の教師をしてると時々、なんだろう、言葉を教えられるんですけど、文化の部分ってちょっと時代遅れになってしまってるというか。アップデートできていない……

[00:04:07.360] - Noriko

浦島太郎。

[00:04:09.250] - Chikako

そう、浦島太郎。それで結構生徒さんの方からこれ知ってる？これ知ってるって情報をもらうんですよ。だから今年帰る、今年じゃないや、去年帰ることになったので、まあ、その間にいろいろ日本の情報を集めて日本語教師としてもアップデートレベルアップしようかなっていうのが去年帰国の目的だったんですけど。

[00:04:37.030] - Noriko

でもその目的が達成できました？色々なことをちょっとアップデートできた？

[00:04:42.670] - Chikako

色々アップデートできました。後ほど後ほど。そうそう。それで、そうだな。何の話してたんでしょうね。

[00:04:53.170] - Noriko

その近況を含めた去年からの話ですよ。うんうん、両立してやってた。

[00:05:01.960] - Chikako

両立してやってました。今年から実はちょっともう一つ仕事を始めたっていうのがあって、先週まで仕事を3つもしてて。

[00:05:14.890] - Noriko

え？新年早々ってこと？、年末も、ってことか。

[00:05:18.040] - Chikako

仕事を年末もやってました。あ、そっか、ちょっと今新年だから時間の感覚がおかしいですけど、去年の秋から違う仕事をまたもう一つ始めちゃってて、しばらく仕事を3つ回してたので忙しかったです。

[00:05:33.730] - Noriko

うわ、めっちゃじゃあ働きましたね。これからもね。今年も。今年もそんな感じでやっていくって感じ？その両立しながら。うんうん。

[00:05:43.400] - Chikako

うん、そうだな。今年こそ non productive life をちょっともう一度掲げようかな。

[00:05:53.470] - Noriko

そう、紙に、紙に書いて・・・

[00:05:56.320] - Chikako

紙に書いて、もうおでこ、おでこにシールで貼るところかな。non productive life。

[00:06:01.690] - Noriko

でも、働ける時と、そのさあ、何か、あるじゃない波が、やっぱり波今ノッてる時だから、やらなきゃ、ガッツリやらなきゃいけない時なんですよね。結局は。

[00:06:10.990] - Chikako

そうそう、エネルギーに溢れてる時期だからこそ、うん、そうそう、たくさん作ったり、たくさん人と会ったり、そうそう、エネルギーない時はもう、しょぼんって風船みたいに、しょぼん、しょぼんじゃうので。そう。今のうちにね。

[00:06:29.680] - Noriko

いいですね。でも、仕事の割合としては、メインは、メインっていう言い方は良くないかもしれないけど、絵を描くことがやっぱり時間のほとんどを取られている感じですか。

[00:06:41.070] - Chikako

そうですね。イラストレーターが一番メインです。何せ、そう、あ、でもちょっと先週から日本語のプライベートレッスンをお休みしていて、イラストの仕事が大きくなっちゃったので、日本語の先生も生徒を引っ張るために勉強し続けなければいけないし、イラストも描く練習をしなければ停滞するか下手くそになっちゃうっていう。

[00:07:10.470] - Noriko

なるほど、描き続けられないといけないっていうことですね。

[00:07:12.810] - Chikako

そうそう、うまくなることはないのだから日本語の先生もイラストの仕事も勉強し続ける仕事だと思っていて、2つ、やっぱり引っ張っていくにはエネルギーが足りないかなって最近思うようになってます。

[00:07:29.910] - Noriko

そうか、でも本当にそれは私も痛感する。本当に去年は結構私勉強会とかに参加したんですね。積極的に。だからそのいろんな他の先生につながろうと思ってお金を出してでもね。ちょっと情報アップデートしようと思って結構勉強しました。勉強したっていうのかな、話を聞いたっていうのか・・・で、それで刺激をもらって、でやっぱりなんか成長するっていうか、さらに勉強しなきゃいけないっていう感じで、それは本当にそうだね。勉強しなきゃね。

[00:08:01.380] - Chikako

うん、素晴らしい、のりこさん、いろんな日本語の先生にもお会いしてましたよね。

[00:08:08.430] - Noriko

あれはでも本当にタイミング良かったんですけど、その旅行中のことでしょう。私のね。うんうん。

[00:08:14.970] - Noriko

そうそうそう。

[00:08:16.050] - Noriko

でも、まあ、勉強ですよ。

[00:08:18.730] - Noriko

うん、そうそう、え、じゃあさ・・・

[00:08:21.530] - Chikako

のりこさんはすごくオープンで、明るいし、他の先生にも生徒さんにもフレンドリーだし、こうやって皆のりこワールドに引き込まれていくんだなってこう最近思っていましたよ。

[00:08:37.650] - Noriko

のりこワールド。

[00:08:38.610] - Noriko

そうですね、おばちゃんワールドね、本当に、ますます何かおばちゃん、老化、老化現象が進んで。

[00:08:44.490] - Noriko

いろんな意味で。

[00:08:46.200] - Noriko

おばちゃんパワー全開なんですけど、いや、でも私は去年は結構ゆっくりしたというか。私の場合は、ごめんなさいね。私の話なんだけど、去年多分お話したかな。最初ちょっと手術をしてね。それで乗り切ったと思って、年末旅行に行く前にコロナになったんですよ。

[00:09:09.220] - Chikako

かわいそうに。

[00:09:10.630] - Noriko

だから始めと終わり・・・。

[00:09:12.100] - Chikako

言っていましたよね。

[00:09:12.460] - Noriko

うん、だからね、あんまり実は。

[00:09:15.520] - Noriko

いい1年じゃなかったかなとか思いながら去年はね、病気、本当によくなりました。

[00:09:23.260] - Noriko

健康？

[00:09:23.860] - Chikako

コロナ、もう大丈夫ですか。

[00:09:25.390] - Noriko

今大丈夫です。ありがとう本当に、元気なんですけど、

[00:09:28.360] - Chikako

ああ、よかった。

[00:09:28.360] - Noriko

でも、ちかこさんは元気なの？うん、もう心身、あの、全部元気？体もメンタルも？

[00:09:35.620] - Chikako

体は元気です。ただ、去年今更なんですけど、調べたら私厄年でした。厄年。

[00:09:44.770] - Noriko

私ちょっと調べてないけど、私もそうだったかな？うそうそ……え、本当？何か悪いこと、ありました、でも？

[00:09:52.660] - Chikako

結構精神的にチャレンジは多かったかな。特に日本に行った時、私何か日本に行くまでの過程と、日本に行った後のちょっとギャップ？ギャップと、それで日本にしばらく、コロナもあって両親にも会えなかったし、もう本当に日本が帰ってくるなっていうオーラが全開で、なかなか踏み留めない、というか、それで去年帰ることになったので、1年くらいはその日本語教師の勉強とあと家族と一緒に過ごしたり、友達と会ったりとか、ゆっくりしようかなって思ってたんですよね。そこから厄年パワーなのか。ちょっと私のタイミングが悪かったのか。それか、カナダに住み過ぎて日本の生活がもう合わなくなってしまったのか。多分それ、それなんですけど、それは逆カルチャーショックという言葉は初めてその時知ったんですけど、なんか、しっくり来なくて…

[00:11:02.770] - Noriko

その部分をね。私もその日本に行って帰ってきたばかりだから、何かちょっと二人で深く、深くとか話したいんだけど。

[00:11:11.110] - Chikako

うん。

[00:11:11.980] - Noriko
久しぶりに日本に行って、

[00:11:15.310] - Noriko
いいことももちろんあるけど。でもちょっとやっぱりあれって思ったこともあったってことですね。
今のお話を伺うと。

[00:11:23.770] - Chikako
あれって思うことの方がもう 80% というか。かなり多くって・・・

[00:11:29.320] - Noriko
具体的に話せる範囲でどんなことにちょっと違和感とか何かストレスを感じちゃいました？

[00:11:36.610] - Chikako
うん、まずちょっとちょっと悪い印象を話す前に、日本食はめっちゃくちゃ美味しかったということ前提に。

[00:11:43.650] - Noriko
そこ、そこ！

[00:11:45.280] - Chikako
日本食、おいしい。

[00:11:45.280] - Noriko
これは私も本当に。

[00:11:46.900] - Noriko
おいしい。

[00:11:49.630] - Noriko
やっぱり最高だよ。日本の食べ物。

[00:11:52.750] - Chikako
最高。もうね。ご飯もピカピカしてるし。

[00:11:58.210] - Noriko
お米、お米の粒が違う。

[00:11:59.530] - Chikako
お米、そう、お米の粒、ピカピカって。

[00:12:03.400] - Noriko
ふわふわ。

[00:12:04.210] - Chikako
ちょっとそれは、そう、ふわふわ。本当に日本でしか食べれないものをカナダになかなか売ってないものとか、そういうのは本当に日本食を楽しむことができ、その部分は 100% 完璧でした。

[00:12:18.820] - Noriko
うん、私も絶対そこは・・・

[00:12:21.230] - Chikako
おまけに、うん。チップもないから、お金もたくさん払うこともなく、あれ、イギリスチップ制でしたっけ？

[00:12:29.280] - Noriko
いやいや、ないですね。

[00:12:30.780] - Noriko
ないんですよ。

[00:12:31.230] - Chikako
あ、ないんだ。

[00:12:33.150] - Noriko
もう含まれますけどね、レシートに。

[00:12:36.780] - Chikako
素晴らしい、考えなくていいのはいいですよ。カナダって最近 20 %、合計から 20% 15 から 25 か。最近インフレーションで上がってるから。そうそう。それを考えるのも面倒くさいし、何だろ
うね。

[00:12:56.730] - Noriko
わかる、わかる。

[00:12:56.730] - Chikako
それが、日本になかったの楽だったな。うん。

[00:13:02.040] - Noriko
あと、その、いいことだね。その食べ物で。

[00:13:05.460] - Noriko
私、決してねそんな高級のレストランとか全然行ってないんですよ。でも、普通のところで定食屋
さんというのが安くてめっちゃおいしい、みたいな。

[00:13:15.120] - Chikako
わかる。1,000円ぐらいで食べられる定食屋さん、おいしい。

[00:13:20.790] - Noriko
そういうの多いよね。

[00:13:21.960] - Chikako
その、うんうん、あの値段でカナダで食べることは無理なんで、そういう面で財布に優しいし、ご飯
もおいしいし、最高って。本当にご飯と納豆とキムチみたいな、もうそれだけでも幸せ。それだけ
で。

[00:13:39.930] - Noriko
そうね。あと、私、味噌汁、お母さんの作ったお味噌汁！

[00:13:43.710] - Chikako
最高。

[00:13:44.760] - Noriko
最高、最高。

[00:13:45.840] - Noriko
本当に最高だった！うんうん……

[00:13:48.390] - Noriko
これはもう本当に皆さん、安心して日本の食べ物を食べに行ってほしいんだけども。

[00:13:53.130] - Chikako
うん、じゃ、そこから、こっから行きましょうか。こっから行きましょう。はい。まず最初にはちょっと合わないかもって思ったのが、広告の多さ。なんか地域によって違うのかな。広告がうるさくて。

[00:14:09.630] - Noriko
目障りになったよね。

[00:14:11.940] - Chikako
かなり目障り、何か YOUTUBE でたまに、たまに、とか、最近広告多いじゃないですか。

[00:14:17.910] - Noriko
うんうんうん、そうです、そうです。

[00:14:18.660] - Chikako
動画の最初と、途中、真ん中にもパって、それがずっと続いている気分なんですよね。ね、もういら
ないのに目に入ってくる感じ。

[00:14:28.260] - Noriko
私、言っていていいですか。全く同じ印象を受けました。何かね、広告も、しかも日本の広告ってちょ
と特別だからね。欧米と違うデザインじゃない、文字が多いじゃない。ものすごい情報量で。

[00:14:42.080] - Noriko
えー、ここまで、みたいな。

[00:14:44.780] - Noriko
それがちょっとToo muchみたいなね。やりすぎじゃん、みたいな感じは絶対ある。うん。

[00:14:51.740] - Chikako
そう、いらないのに読んじゃうんですよね。こう文字があるから、もうパッと入ってきちゃう情報が。
おまけにほら、電車の中も広告だらけじゃないですか。

[00:15:03.260] - Noriko
そうね。

[00:15:03.830] - Chikako

広告が、ほら、ビールとか、脱毛、脱毛の広告とか、なんで電車で脱毛の広告とか・・・

[00:15:12.050] - Noriko

これね、すごい面白い偶然なんだけど、私昨日、その脱毛の広告についてポッドキャスト録音したばかりなのよ。

[00:15:19.820] - Chikako

ウケる。

[00:15:21.260] - Noriko

来月、公開予定なんだけど、全く同じ印象で。

[00:15:24.260] - Noriko

吊革広告に、なんでこんなしかも、男性脱毛クリニックの宣伝が多いの？みたいな話をしたの、多かったね。

[00:15:33.590] - Chikako

多かった、広告。特に脱毛、バスにも脱毛の、何なんでしょうね。キャン、キャンペーン。

[00:15:40.820] - Noriko

キャンペーンなのかな。ま、今儲かっているらしいね、そのクリニックは。

[00:15:44.690] - Chikako

うん、時代の流れなのかな。

[00:15:49.370] - Noriko

いや、でも多すぎると思う、うんうん。

[00:15:53.180] - Chikako

うん、あと駅の周りとかも広告、埋まってるじゃないですか。ビルも。一回からもう何十階まで広告だらけって感じで。

[00:16:03.560] - Noriko

確かに。

[00:16:04.700] - Noriko

じゃ。

[00:16:05.420] - Noriko

そうか。じゃあ、それが私たちはええ、ちょっと・・・と思ったけど、でももしかしたら外国の人見たら、これが日本っぽいって思うのかもしれないね。

[00:16:14.900] - Chikako

うん、そうですね。情報量、新宿とか秋葉原とか、もうなんだろう看板だらけじゃないですか。ダダダダだって。

[00:16:23.980] - Noriko
そうそうそうそう。

[00:16:24.680] - Chikako
それでたぶん日本っぽって思ってくれんのかな？

[00:16:27.770] - Noriko
でしょうね。

[00:16:29.450] - Noriko
ああ、でも本当に面白いポイント。

[00:16:33.020] - Noriko
じゃ、疲れちゃったんだ。

[00:16:33.890] - Chikako
あと、目だけ、もう目だけじゃなくて、そのスーパー行っても、結構今日は今日は安いですよ。これが一番、何とか・・・みたいな。あの、何だろう。カナダのスーパーマーケットって、あんま、そういうのなくて。

[00:16:51.020] - Noriko
ないないないない。

[00:16:51.020] - Chikako
普通にEd Sheeranとか、そういう感じの音楽が流れて歌いながらショッピングできるんですけど、日本がもう、今日のお得なものはこれってずっとラジオっぽいのが流れてる。もうそれも耳からも情報が入ってきちゃって、何だろう。もう逃げ場がなかった。

[00:17:11.750] - Noriko
そっか・・・もう圧倒されたんだ。久しぶりで何か、うわーっと。

[00:17:16.970] - Noriko
そうだね。

[00:17:17.510] - Chikako
そう。

[00:17:18.530] - Noriko
わかる。これはすごく共感できた。うんうん。

[00:17:21.860] - Chikako
何か今まで眠ってたというか、使ってなかったアンテナがいきなりピーンって。

[00:17:28.970] - Noriko
そこになんか・・・

[00:17:29.600] - Chikako
もうずっとずっと・・・

[00:17:30.410] - Noriko
ザーッと来て、

[00:17:31.160] - Noriko
て、もう

[00:17:32.390] - Noriko
いっぱいいっぱいになっちゃったって感じですね。

[00:17:35.390] - Chikako
そう、疲れちゃった。

[00:17:37.550] - Noriko
それはある。何か疲れたね、たしかに。うんうん。

[00:17:41.150] - Chikako
なんか疲れた。

[00:17:41.480] - Noriko
多分そこだ！

[00:17:42.140] - Chikako
気疲れしちゃった。

[00:17:43.270] - Noriko
うんうんうん、そう、気疲れ、いい、それ、まさしくそれ、気疲れね。

[00:17:47.490] - Noriko
うんうん。

[00:17:48.440] - Noriko
他にはありました？じゃ広告以外に。

[00:17:50.960] - Chikako
他・・・他はね、いいところにもなるし、私にとってはちょっと悪く働いてしまったんですけど、よく言えば日本の接客はとても丁寧で素晴らしい。ただ、ちょっと私の方に働いてしまったのが、堅苦しくて気疲れ、違う気疲れ、言葉遣いも丁寧で敬語とかいいんですけど、なんか固くって、何だろう。ちょっとロボットチックというか。

[00:18:24.110] - Noriko
ロボット。

[00:18:25.100] - Noriko
何決まり文句のやり取りみたいなね。

[00:18:28.010] - Chikako

そう、そうそうそう。日本語勉強してる皆さんにとってはね。ああ、このフレーズ知ってるって感じでね。いいかも。

[00:18:35.270] - Noriko

いや。

[00:18:37.790] - Chikako

どうなんだろうね。あの・・・

[00:18:37.790] - Noriko

何かその丁寧さで言えば、やっぱりその日本のカスタマーサービスは本当に素晴らしいと思うんだけど、そこで生活していれば、それがもちろん当然で、それでうまく回って世の中日本が回ってるんだろうけど、イギリスとかカナダから行くとね。いや、そこまでしてくれなくてもいいんだよって言いたくなりますよね。

[00:18:58.400] - Noriko

うんうん。

[00:18:59.360] - Chikako

そうそうそう。結構カナダって働いてる間も何だろう。友達までには行かなくても、他人との境界線がかなり薄いというか、なんだろう、人懐っこいのかな。カナダの人。だから何か買い物してても何これ新しいの？試してみようかな、とか。そういう何気ない会話がいつも出てくるんですけど、日本っていらっしやってみせるともうずっと決まってるじゃないですか。何か入り込む隙がないというか、何だろう。突発的な会話が全く生まれません。

[00:19:37.820] - Noriko

かもしれない。逆にもしかしたら、その日本で働く人たちの立場で言えば、そういう、なんか、会話したくないって、ちょっと面倒くさいお客様になっちゃうかもしれないね。日本だと。

[00:19:49.190] - Chikako

そうそうそう。そうか、あれだ、SMALLTALK、SMALLTALK、その文化が私は好きで、その文化が日本の私の住んでた地域にはなかったから、それが寂しくてちょっと孤立した気分になっちゃうっていうのかな。

[00:20:08.330] - Noriko

いや、ないよね。私もないと思う。その基本的に、店員さんとそこまでのろんな話しないもんね。やっぱり。うん、日本、日本だよ。

[00:20:18.670] - Chikako

イギリスでします？

[00:20:19.900] - Noriko

イギリスで、いや、私はイギリスの中でも北アイルランドじゃない。アイルランドの人は本当に話しかけてくるよ。もうあらゆるところで。

[00:20:27.850] - Chikako

うん。わかる。

[00:20:28.660] - Noriko
多分

[00:20:29.920] - Noriko
私も、外国人の顔だから、珍しい顔だから、多分どこから来たの？みたいな感じで声をかけやすいんだと思うんだけど、ものすごい声かけられます。

[00:20:39.940] - Chikako
うんうんうん、そうそう、何かそれを当たり前にな数年間過ごしちゃったもんだから、日本に帰った時に何か物足りないって思っちゃって、

[00:20:51.820] - Noriko
そっか・・・

[00:20:53.050] - Chikako
人との関わり方。

[00:20:55.810] - Noriko
で、ま、でも結構いい、いろんな意味で経験して情報もちよっとアップデートできて。で、

[00:21:02.500] - Noriko
カナダに帰ってきて良かったってことですね。結果は？その、また、また、そのカナダで頑張ろうみたいな感じで、うん。

[00:21:11.610] - Chikako
そうですね。もうカナダに帰ってきて、すごくしっくりきました。ああ、ここで生きていこうって。

[00:21:18.720] - Noriko
あ、そうかそうか。再確認できたって感じかな。

[00:21:22.140] - Noriko
あ、それはよかった。

[00:21:23.130] - Chikako
なんだろう。そうそう、帰る前は結構マンネリしてたのかな。なんとなく環境が当たり前になっちゃって。でも日本に行って違う文化と、何だろうね。環境を見たからこそ、こっちに帰ってきた時に全て当たり前じゃなくなって、あ、これに感謝できる・・・

[00:21:43.200] - Noriko
ありがたいね。

[00:21:43.200] - Chikako
なんだろうな。ありがたくなった。本当にありがたくなった。

[00:21:49.080] - Noriko
うん、そうそう、

[00:21:49.200] - Chikako

そうそう。

[00:21:49.200] - Noriko

そういう気持ちがあるから、またちょっと仕事へのモチベーションもたぶん、上がるだろうし、ね。だからバランスというか。うんうん。

[00:21:56.740] - Chikako

そうそう、秋あたりに帰ってきて、仕事のモチベーション上がり過ぎちゃったから、ちょっと働きすぎて、先週あたりに少し整理しました。

[00:22:07.050] - Noriko

そっか、そう、もう整理しなきゃと気づきました。

[00:22:09.900] - Chikako

気づきました。これ、働き過ぎてるって。

[00:22:12.270] - Noriko

わかる、わかる。まあでもそれだけ、日本での、...どれだけ1カ月ぐらい？

[00:22:16.980] - Noriko

2ヶ月ぐらい？1ヶ月？、その.....

[00:22:18.630] - Chikako

あのね、頑張って、すごくすごく頑張って1ヶ月半いました。

[00:22:22.890] - Noriko

1ヶ月半、だから、それがでも逆に良かったんですよ。本当に。うんうん。

[00:22:27.900] - Chikako

本当はね、もっと早く帰りたくて、もう、着いて1週間ぐらいから、やっぱりカナダがよかった、やっぱりカナダがいいって。

[00:22:35.670] - Noriko

あ、本当に？

[00:22:36.090] - Chikako

延びて延びて...

[00:22:37.560] - Noriko

延びて、まあいろいろね、チケットのこととかあっただろうし、そっか。

[00:22:40.650] - Chikako

そうそう、うん。

[00:22:42.900] - Noriko

いや、私はま、まだね、ここでイギリスって生活をするつもりですけど。でも本当に前も話したように両親のこととかもあるから、もしかしたらいつか本当に日本に帰るかもしれないけど、できるだけイギリスでいいかなと思ってます。正直言うと。

[00:23:01.290] - Chikako

うん。

[00:23:02.610] - Noriko

多分本当にちかこさんと近い感じがあると思う。うん、やっぱりここが私の家かなっていう感じはある。イギリスがね。

[00:23:10.410] - Chikako

うん。のりこさんの話も聞きたいんです。

[00:23:13.860] - Noriko

どうぞどうぞ。

[00:23:14.760] - Chikako

日本、日本に帰って、で、イギリスに帰ってどうでした。北アイルランドに帰ってきて、どういう気持ちになりました。

[00:23:21.960] - Noriko

私はいつでもそうなんですけど、何か旅行に行くじゃないですか。短い旅行でも長い旅行、もう帰ってきて、ここに着いた時に、「あ、家に戻った」っていう気がします。だから、もう本当に今、ここが私の生活の中心なんですよね。やっぱり。その北アイルランドが。うん。だから日本に帰った時には、今回も・・・

[00:23:42.740] - Noriko

日本、ああ、やった！

[00:23:44.510] - Noriko

故郷に帰ったって嬉しさはあったけど。その自分の家に戻ったという感じじゃない。え、うまく説明できないけど、

[00:23:52.110] - Chikako

わかるわかる。

[00:23:52.650] - Noriko

何かやっぱりあくまでも、もう何か観光客として行ってる感じ。何か、そのうまく説明できない。でもそんな感じ。うん。

[00:23:58.290] - Chikako

私、今回帰って、外国人って呼ばれてる人たちの気持ちが本当にわかった。

[00:24:06.360] - Noriko

あ、本当に？

[00:24:06.810] - Chikako

本当にわかりました。この異国の感覚、日本に帰って、何だろう。懐かしい気持ちはもちろんあったんですけど、何か自分の国というか生まれた場所っていう感覚じゃ何となくなくなってる。何だろう。その観光客の気持ちも。

[00:24:24.810] - Noriko

でも、分かる分かる。もう随分、そうね。私は特に岡山に戻った時には本当に岡山ほとんど変わってなくて、4年前と。ああ、同じだって思って逆に安心したというか変わらなくてもいいのかなと思ったくらいだけど、東京に今回行って、私も本当に東京、私にとって大都会すぎて。でもさ、田舎、田舎者だから。でもそれはそれで楽しかったけど、本当に私、観光客でした。本当にもうあの、ビルを見て、うわーって眺めるような感じで。

[00:24:54.990] - Noriko

うんうん。ま、東京、面白いと思ったけどね、観光客で行くには。

[00:24:58.800] - Noriko

本当に、うんうん。

[00:25:00.960] - Chikako

そうそう。私も東京何回か行って面白いなって思ったのが、前話したかもしれないですけど、文化体験、本当に日本の伝統を大切にしている場所が多くて、その安い金額で何かこういう体験できますよとか、藍染とか、あと和菓子作りとか、そういう機会を東京をたくさんあって、すごく観光客にも楽しめる場所だになって。エンターテインメントが充実しているのかな。すごく。

[00:25:35.340] - Noriko

そうだね。そうだね、何か色々探せばイベントもあるし、何か毎日起きてる、ね、やっぱり大きな街は。うん、そうね。

[00:25:43.110] - Chikako

毎日起きてる。

[00:25:45.870] - Noriko

そっか・・・じゃ、ちかこさんは日本に旅行とか、ま、ちょっと帰るけど、でもやっぱりカナダがいいってことだね。うん。

[00:25:54.810] - Chikako

家って感じたのはやっぱりカナダでしたね。ここだ、なんて、こう自分のなんだろう、起点というか、あの、はい、エネルギーになる場所ってカナダだなんて思いました。

[00:26:07.440] - Noriko

あの、ちょっといいかな。ちかこさんの旦那さんも、その、前回、去年一緒に日本に帰った？

[00:26:12.510] - Chikako

はいはい。

[00:26:14.130] - Noriko

旦那さんは何か印象がありました、特別な、日本に関して。久しぶり、久しぶりじゃない、旦那さんも。

[00:26:20.460] - Chikako

ああ、久しぶり。日本食はもう感激してて、

[00:26:25.290] - Noriko

うん、やっぱりね。

[00:26:26.580] - Chikako

毎日ご飯おいしいおいしくて食べて。ただ私と同じこと言ってましたね。やっぱり日本の方って、その表情が特にマスクしてたのもあるかもしれないんですけどね。なかなか考えてることが読めない。顔からそのイエスとノーがなかなか読むことができない。

[00:26:49.950] - Noriko

本当にどう思ってるのかね。

[00:26:51.770] - Chikako

うんうん。

[00:26:53.910] - Noriko

なるほどね。

[00:26:56.190] - Chikako

そういうのは、ちょっとカナダの方が楽だったなって言ってたのと、うん、同じこと言ってましたね。その人も接客もなかなか、元々まだ日本語がね。日本語を練習中なので。そうそう、カナダよりちょっと不便なことが増えてたかな。日本だと。

[00:27:21.720] - Noriko

あ、そうなんだ。そうね。言葉の壁ってことですね。うんうんうん。

[00:27:26.040] - Chikako

言葉の壁。うん。

[00:27:28.170] - Noriko

言葉の壁、プラス、日本人の本当の気持ち、心が分かるにはちょっとね。テクニックが必要。

[00:27:35.460] - Chikako

ね。

[00:27:35.460] - Noriko

かもしれないね。

[00:27:35.460] - Chikako

マスクで、マスクで余計に分からなくなっちゃったから、目だけで何考えてるんだろうみたいな。日本人同士だとね・・・

[00:27:46.050] - Noriko

カナダは、今、マスクしてる人いるの？

[00:27:48.740] - Chikako

もう、いないです。

[00:27:50.230] - Noriko

ですよ、イギリスも全然ね。

[00:27:51.530] - Chikako

いないいない、あのね日本に帰ってくる時期を間違えたんだよね。夏に帰っちゃったから、

[00:27:59.350] - Noriko

確かに。

[00:28:00.100] - Chikako

夏のマスクが辛すぎて

[00:28:02.986] - Noriko

きつい！

[00:28:04.120] - Noriko

そっか、じゃあ印象違うね。私は 12月だったじゃない。で、やっぱり寒い時だから、マスク暖かいじゃん、ていうぐらいで。

[00:28:12.400] - Noriko

ちょっと

[00:28:13.570] - Noriko

息苦しいなと思ったけど。でもやっぱり暖かいとは思いました。うんうん。

[00:28:17.260] - Chikako

うんうん、暖かい方がいいね。夏は暑苦しくて、もうすぐ外したい欲が・・・あの、くせ。マスクをつけるくせがなかったから、日本でマスクしないで歩いちゃうことが結構多くて。

[00:28:32.800] - Noriko

あ、本当に？

[00:28:33.450] - Chikako

人に、なんか、チラチラって。

[00:28:35.470] - Noriko

あ！みたいなの。

[00:28:35.740] - Chikako

忘れちゃうんですよ。そうそう。やっぱり見られましたね。チラチラって。何だろうって思ったら、ああそうかマスクって！マスクを忘れたって。

[00:28:45.230] - Noriko

そうそうそうね。

[00:28:46.690] - Noriko

私はもう 12月行った時も、本当にあの、マスクしなきゃいけないのは分かってたけど、色々なところにやっぱりさ、マスクのご協力をお願いします、みたいなメッセージがあって、食べた後も

さ、食べる時はマスクを外してもいいけど、食べ終わったらマスクをつけてください、みたいなメッセージを見ると、何か。

[00:29:07.780] - Noriko

あ・・・

[00:29:08.090] - Noriko

そうなんだって思っちゃったね。

[00:29:11.560] - Chikako

なんかね。そういうちょっと神経質なところ、そうそうそう、しょうがないんですけどね。

[00:29:20.050] - Noriko

そうですね。そうですそうです、しょうがない。それが日本だから。

[00:29:23.830] - Chikako

しょうがないんですけどね。

[00:29:24.700] - Noriko

ね。日本に行けば、それに従うけれども。うんうん。

[00:29:28.420] - Chikako

そうそうそう。でも合わなかったら自分が出て行くしかないって言うか。環境は自分が変えるしかない。

[00:29:35.050] - Noriko

そうですね。

[00:29:36.370] - Chikako

ね。変えられないことに文句を言ってもしょうがないからね。

[00:29:40.540] - Noriko

そうです。そうです。まあね。でも、いい。カナダでこれからもやっていこうっていう何か改めて決意が生まれて、いい、良かったと思う、本当に。

[00:29:51.350] - Chikako

そうそう。結構最近、その何だろうな。カナダで生きていこうって決めた後から自分でもっと調べるようになったりとか、そのカナダのバンクーバーの外はどうなってるんだらうとか。何だろう。カナダに対してもっと興味が湧きました。

[00:30:10.600] - Noriko

いいですね。

[00:30:11.740] - Noriko

今は。

[00:30:13.030] - Noriko

バンクーバーの本当に中心に住んでるんですか。

[00:30:16.840] - Chikako

いま、ダウタウン、はい、そうです。

[00:30:19.060] - Noriko

そっか、楽しそう、でも、それも。うんうん。

[00:30:22.450] - Chikako

もうひとつ仕事始めたって言ったじゃないですか。そうそう。一度、バンクーバーの地域の人たちと一緒にいろいろ働いてみたくなって。そう。だから今までずっと何年も自分一人で仕事してきたので、これなんだろうな。もっと外に出てみて、いろんな人と会って、何だろう。うん、バンクーバーにもっと関わってみようって思ったんですよね。

[00:30:47.920] - Noriko

素晴らしい。だから本当にそこで生きていこうみたいな気持ちが伝わりますよ。だから人と、人に会おうみたいなね。実際に。バンクーバーの人に。うんうん。いいね。

[00:30:59.560] - Chikako

やっぱりその人と、ここのバンクーバーの人と会ってつながって、やっと自分でその国に何だろう、根が張る、っていう言い方なのかな。

[00:31:11.860] - Noriko

分かる。

[00:31:12.280] - Chikako

足がつくって言い方なのかな。一人で働いてる時、結構フワフワしちゃう気分が多くて、これ日本でもできるのにな、とか。そうそうそう。何かしら頭の隅っこに日本があったんですよね。

[00:31:25.540] - Chikako

ずっと。

[00:31:27.130] - Noriko

そっか、でも楽しそう。それはでも楽しそうね。聞くだけで、どんなお仕事か分からないけど、その人とバンクーバーの人と何か関わって仕事をするっていうのはものすごくいい。楽しそうです。

[00:31:40.540] - Chikako

うん、今、キッチンで働いてるんですよ。

[00:31:43.630] - Noriko

あ、本当に。

[00:31:44.440] - Chikako

体の思いっきり使いたくって。

[00:31:47.740] - Noriko

あ、でもすごいバランスがいいね。今聞いたら。だからそこでは体を動かしてって話して、もちろんね、お店で。で、日本語の、今はちょっとレッスンをストップしてるって言ったけど。でも日本語だと日

本語で話して、生徒さんと。で、あとはガーッと机に向かってね描くみたい。すごいバランスはいい感じがする。うん。

[00:32:06.730] - Chikako

そうそう。あのー、キッチンで働こうって思ったのがカナダってでっかいオープンあるんですよ。家に。

[00:32:19.000] - Noriko

家庭用でも大きいやつよね。

[00:32:21.490] - Chikako

すごいおっきい。でも今まであんまり使ったことなく、オープン、日本、ちっちゃかったから、特になんだろう、使う機会もなかったし、結構カナダってそのオープン、大きいオープンで、いろんなものをガンって、混ぜて入れるみたい。そういう料理が多い・・・なので、何かそういう料理も勉強してみたい。そうそう。今回初めて働いて英語でレシピをじっくり読んで、その作って、今まで作ったことのないレシピに挑戦するっていうのもすごく楽しい。今まで働いた職場で一番国際色豊かなところなんですよ。

[00:33:04.510] - Noriko

面白そう。

[00:33:04.930] - Chikako

その今まで会ったことのない人、そのインドの人とか、イランの人とか、メキシコの人とかみんなたくさん集まってる職場なので。

[00:33:19.580] - Noriko

すごいなあ。いや、何かちかこさんの話を聞いたら、なんか私、もうちょっと出かけていかなきゃっていう気になってきた、私、最近ずーっとやっぱりこもってるから、ねえ。でも私も本当に仕事しようと思っただけで、やっちゃうタイプだから。

[00:33:35.960] - Noriko

ちょっと・・・

[00:33:37.760] - Noriko

ちょっとね。そういう風に、あの、地元とかかわる、じゃないけど、なんか外に出かけるの、いいね。

[00:33:44.030] - Chikako

うん。あの、人を引っ張り続ける仕事、あと、家にずっとこもり続ける仕事。それをずっとやってたから、その、引っ張らないで本当にチームメンバーとして働くっていう感覚。ほんと久しぶりで。

[00:34:03.110] - Noriko

うんうん。それもまた新鮮ですね、じゃ。

[00:34:05.360] - Chikako

新鮮。

[00:34:07.490] - Noriko

これまだ続いているの？

[00:34:09.410] - Noriko
このキッチンの仕事……

[00:34:09.890] - Chikako
続いています、はい。

[00:34:09.890] - Noriko
すごい。

[00:34:12.120] - Chikako
うん、そう、キッチンの仕事を続けてて、イラストの仕事を続けてたんですけど、やっぱり日本語の先生の仕事ってその時間がこの時間って絞られちゃってるのと、あと、授業の前と後、もう時間を使わなきゃいけない。その準備とか宿題とかそれでちょっと両立がだんだん崩れてきてしまったのがあって、ちょっとプライベートレッスンは先週あたりでお休みして、もう一回バランスを整えようと思っているところ……。

[00:34:48.440] - Noriko
その通りで、ま、長い将来、またどこかのタイミングで復活できるだろうしね。

[00:34:54.420] - Noriko
うんうん。

[00:34:55.010] - Chikako
そうそうそうそう。あの、一生の中でここで終わったとは思ってなくて、今、あのカナダに帰ってきたばかりだし、バランスを整えるためにちょっと一度お休みしてる状況ですね。

[00:35:07.790] - Noriko
いいですね。

[00:35:08.750] - Noriko
いい、いい。じゃ、何か今年も楽しみね。色々が。うん、今年、旅行は？旅行予定、ないの？

[00:35:16.320] - Chikako
今年ね、旅行、カナダの中でどっかしようと思ってるんですけど、どっかへ…どこへ行こうかな。なんかおっきい旅行したばかりだから、カナダから日本にね……

[00:35:29.730] - Noriko
まだイメージがね、できないね。

[00:35:31.830] - Chikako
そうそうそう、まだ浮かんでこない。のりこさん、どっか行きます。

[00:35:34.890] - Noriko
いや、今年はペルーかなって言っててね。私の旦那の家族に……

[00:35:37.980] - Chikako

ペルー。

[00:35:39.510] - Noriko

これも家族、はいはい、家族の関係なんだけど、去年はもう日本で。で、今年はまだペルーで、ね。それこそコロナの時、全然帰ってないから。

[00:35:51.150] - Chikako

そうですね。

[00:35:52.080] - Noriko

はい、そうなると思います。そうそうそう。

[00:35:56.040] - Chikako

私、今年はカナダでどっか旅行しようと思ってて、で、来年ヨーロッパに行こうと思ってます。

[00:36:04.380] - Noriko

おお、本当に？ちょっと大きく、ツアーじゃないけど、いろいろね。

[00:36:07.620] - Noriko

いろいろ・・・うんうん、来て来て。ちょっとイギリスでも、北アイルランドだけど。でもアイルランドのダブリンだったら私 2時間、ベルファストから。

[00:36:16.650] - Chikako

ダブリンか。

[00:36:17.580] - Noriko

ダブリン、いいところよ。

[00:36:17.580] - Chikako

えー、行ってみたいな。

[00:36:20.730] - Noriko

でもさあ、ちかこさん、お酒飲むの。

[00:36:23.820] - Chikako

お酒は時々飲みますね、

[00:36:25.650] - Noriko

あ、本当に？

[00:36:25.650] - Chikako

ときどき。うん。

[00:36:27.960] - Noriko

だってあのアイルランドとやっぱりイギリスだったら、みんなパブでね。パブがああ社交場だから。

[00:36:34.770] - Chikako

確かに。

[00:36:35.430] - Chikako
確かに確かに。

[00:36:37.470] - Noriko
そうそうそう。それこそ、イギリスだったらちかこさんの生徒さんでもあるケビンさん、ケビンさん、日本に行くけどね。今年ね。

[00:36:46.680] - Chikako
日本に行っちゃうけどね。そうそうそう。イギリス、生徒さん結構、多いんですよ。

[00:36:51.000] - Noriko
ああ、本当に。じゃあ会えるよ。

[00:36:56.370] - Noriko
それは楽しみな計画。

[00:36:59.560] - Chikako
旦那が3年間くらいイギリスで、前仕事をしてたから、そのつながりでいろんな人と会ってみたいし。そうそう。ずっとずっと行きたい場所には入ってるんですよ。

[00:37:12.690] - Noriko
あああ、じゃあ、それは再来年ね、あ、来年、来年、ごめん、来年。

[00:37:16.070] - Chikako
来年。

[00:37:17.010] - Noriko
そうそうそう、まだ今年……これね、はいはい。

[00:37:22.330] - Chikako
そう来年の目標に向けて。

[00:37:23.920] - Noriko
うんうん、いいですね。

[00:37:25.690] - Chikako
今年はちょっと……

[00:37:27.850] - Noriko
国内でね。

[00:37:28.570] - Chikako
ゆっくりしたい。

[00:37:30.010] - Noriko

まあ、でも旅行もその日本に帰るのもどこに行くでも、やっぱりちょっと気分転換できて、で、やっぱりスイッチが変わるじゃない。こう気分が。私だから本当に旅行ってすごく人生の中で大切だなと思って。うん。だからやっぱりいろんなとこね、健康なうちに行きたいです。

[00:37:47.520] - Chikako

分かります。家に帰ってきた時に、ああ家だっていう感覚も気持ちいいですね。自分も家のシャワーとか。

[00:37:55.290] - Noriko

うん。

[00:37:55.860] - Noriko

ベッドとかね。

[00:37:56.460] - Chikako

そう、ベッドとかね。

[00:37:59.250] - Chikako

そうそうそう。

[00:38:00.000] - Noriko

本当にそこ、本当にそこ。私はさっきも話したけど、3週間終わって日本に日本から帰ってきた時に、帰ってきた日で、すごいイギリス、ベルファスト寒くて雨が結構降ってたんです。でも、でも全然嫌じゃなかった。ああ、これがベルファストだと思って。

[00:38:17.290] - Noriko

うわー。

[00:38:17.370] - Noriko

雨が嬉しいと思う私、ね。だからそういうことですよね。

[00:38:20.790] - Noriko

生きるって。

[00:38:23.160] - Chikako

全く同じ。バンクーバーも1週間くらいずっと曇り雨で、朝の8時も真っ暗で。

[00:38:29.880] - Noriko

うんうんうん、そうそう。

[00:38:29.880] - Chikako

だったんですけど、もう愛おしくて、これがバンクーバーだって。

[00:38:34.920] - Noriko

帰ってきた！

[00:38:40.170] - Chikako

毎年冬はあんまり好きじゃなかったんですけど、今年の冬は本当特別で、もうこれが好きって。

[00:38:46.740] - Noriko
そうだね。

[00:38:48.330] - Noriko
寒いのか？雪とか降ってるのか？今？

[00:38:49.770] - Chikako
うーんとね。

[00:38:52.530] - Chikako
去年、雪が11月から降ってて。そうそう。特別寒かったかなあ、去年と今年、続けて。うんうん。でも全然東京とあまり変わらないんですよ。

[00:39:07.880] - Chikako
寒さは。

[00:39:08.600] - Noriko
そうだね。まあ、私たちさあ、セントラルヒーティングとかが

[00:39:11.870] - Noriko
あるから

[00:39:12.770] - Noriko
結構大丈夫。

[00:39:13.670] - Noriko
冬はね。

[00:39:14.030] - Chikako
そうそうそう。ね。あんま寒で、凍える感じでもなく、ちょっと上にジャケットを着て、そうそうで、全然耐えられる。

[00:39:25.370] - Noriko
分かりました。え、じゃ、ちかこさんさ、もうちょっと話すけど、ここでさ、一回録音、終わろうと思うんだよね。あのもう40分ぐらいになっちゃったから。でも……

[00:39:33.630] - Chikako
OKです。

[00:39:34.700] - Noriko
ちかこさん、さえ良ければ、レギュラー。

[00:39:37.880] - Noriko
レギュラー、レギュラー

[00:39:38.930] - Noriko

ということで……多分また 1年後ぐらいかなと思うんだけど、多分 1年あればいろいろありますから。毎年一回何かいろいろ人生を振り返りましょう。私と宜しく願いますよ。

[00:39:50.540] - Chikako

これ、恒例にしましょう。

[00:39:52.430] - Chikako

すごく、あの、いい……

[00:39:52.940] - Noriko

そうそう。私はそう考えてるんですよ。うんうん、刺激になりますので、ぜひぜひよろしく願います。

[00:40:00.950] - Chikako

毎回お互い会った時に、あ、1年終わったなって気持ちになって、で、次に向かって一緒に何か考えを整理したりとかいいですよ。

[00:40:09.950] - Noriko

いきっかけになってる。

[00:40:10.160] - Chikako

やりましょう、また。

[00:40:11.360] - Noriko

はい願います。じゃあ一回ここで録音終わりますね。ちかこさんありがとう。

[00:40:15.290] - Chikako

はい。はい、ありがとうございました。またね。

[00:40:18.890] - Noriko

はい、またね。